

世界アルツハイマー月間 オレンジデイ in いびがわ

令和8年

日時 9月6日(日) 13:30~16:30 (開場 13:00)

会場 地域交流センター「はなもも」大ホール

入場無料

入場にはチケットが必要です ※裏面参照

チケット配付期間：8月3日~8月31日 配付場所：社協本部及び各支所

第1部：認知症映画上映会

ぼけますから、
よろしくお願いします。
～おかえりお母さん～

母が認知症になっても、父は変わらぬ愛を注ぐ
結婚生活60年を過ぎた90代夫婦の生きる道

© 2022「ぼけますから、よろしくお願いします。～おかえりお母さん～」製作委員会 www.bokemasu.com



第2部：認知症講演会



「認知症の母が命懸けで教えてくれたこと」

講師 ドキュメンタリー監督 信友直子氏

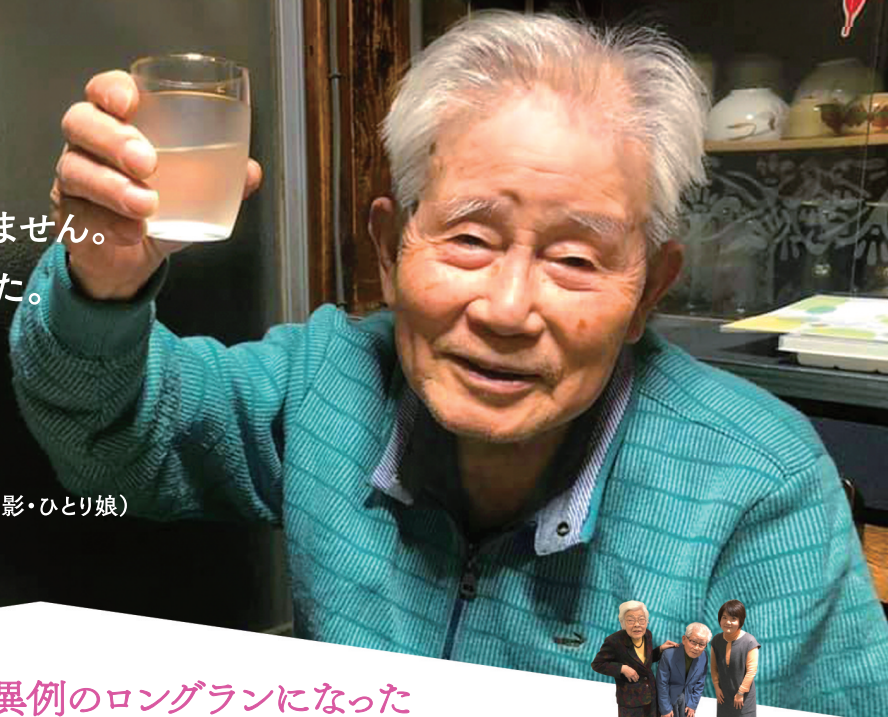
1961年広島県呉市生まれ。東京大学卒業。在京キー局で数多くのドキュメンタリー番組を手がける。
認知症の母と老々介護する父を描いた映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」が大ヒット。介護の経験から学んだ「認知症との上手な付き合い方」を各地で講演を行なっている。



◆主催：揖斐川町社会福祉協議会 ◆共催：揖斐川町 ◆後援：揖斐川町教育委員会

◎お問合せ：揖斐川町社会福祉協議会 ☎56-3700 揖斐川支所 ☎23-0411/春日支所 ☎58-0008/坂内支所 ☎53-2662

人が生きて老いてゆく先には、
必ず死と別れがあります。
でも人生の最終章は悲しいだけではありません。
お互いを思いやり、かわす笑顔もありました。
今回もまた、誰もが自分のこととして
感じてもらえる物語になったと思います。



信友直子 (監督・撮影・ひとり娘)



ロコミが広がり異例のロングランになった
『ぼけますから、よろしくお願いします。』(18)

あれから4年。90代夫婦の愛の形を描いた感動の物語がふたたび始まる。

本作では前作をひも解きながらその後の夫婦の物語を描く。老老介護、認知症、看取り。日本全体が抱える高齢化社会のリアルな問題をありのままに、かつ、時にユーモラスに綴っていく。認知症とともに生きることの大変さや家族の苦勞に共感する一方で、こんな風に生きられたらと憧れを抱かせてくれるような夫婦の姿があった。

広島県呉市。信友直子監督が描くのは年老いた自らの父と母。アルツハイマー型認知症を発症した母の症状が進むにつれ、父は95歳にして人生で初めて家事を覚え、妻を支えている。現実を丹念に見つめた前作『ぼけますから、よろしくお願いします。』は、令和元年度文化庁映画賞・文化記録映画大賞、キネマ旬報ベスト10文化映画3位、ぴあ映画の初日満足度では1位になるなど高い評価を得た。



スケジュール

13:30~

開会挨拶



13:45~ 第1部

認知症映画上映会

「ぼけますから、よろしくお願いします。
～おかえりお母さん～」

15:30~ 第2部

認知症講演会

講師 信友直子氏

「認知症の母が命懸けで教えてくれたこと」



16:30 終了

チケット配付はこちら

社会福祉法人 揖斐川町社会福祉協議会

〒501-1314 揖斐川町谷汲名礼 265 番地 43

TEL : 0585-56-3700

揖斐川支所 揖斐川町上南方 193 番地

TEL : 0585-23-0411

春日支所 揖斐川町春日六合 3420 番地

TEL : 0585-58-0008

坂内支所 揖斐川町坂内広瀬 310 番地 3

TEL : 0585-53-2662

<チケット配付期間>

※なくなり次第終了

8/3 (月)~8/31 (月)